生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	糖尿病性腎症の病期進行における単一ネフロン動態と組織学的変化の関連性についての検討		
1. 研究の目的と方法	ネフロンとは糸球体から尿細管までを１つの単位としており、腎障害が進行する過程でネフロン数が減ることで、残ったネフロンの働きが過剰になることが知られています。またポドサイトは、腎臓の糸球体の濾過機能を保つために重要であり、腎臓病の進展に関与すると考えられています。本研究は糖尿病性腎症の患者さんの特徴（臨床所見）と単一ネフロン動態、糸球体病変・ポドサイト・尿細管などの組織学的変化との関連性を明らかにし、糖尿病性腎症の進展様式を解明することが目的です。 方法：東京慈恵会医科大学附属病院、第三病院、柏病院で下記の期間に腎生検診断の得られた糖尿病性腎症症例を対象とします。CT 画像と腎生検組織標本を用いてネフロン数の算出、糸球体や尿細管、ポドサイトなど腎臓の形態学的評価を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2007 年 1 月 1 日　～　2024 年 12 月 31 日に附属病院、第三病院、柏病院にて腎生検で糖尿病性腎症と診断された方が対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検組織のプレパラート	
	(2) 試料の取得の方法	通常診療として得られた余剰検体として保存された腎生検組織	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、腎生検所見	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　腎臓・高血圧内科
		氏名	三浦　茜
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　腎臓・高血圧内科 上田　裕之	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 7 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　腎臓・高血圧内科 研究責任者：三浦　茜（みうら　あかね） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日 9：00　～　17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。